



御岳溪谷

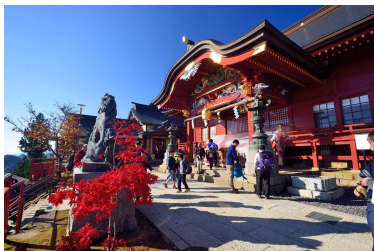


小澤酒造



奥多摩フィッシングセンター

青梅市



武蔵御嶽神社



岩蔵温泉（儘多屋）



青梅市

東京で5番目の広さを誇ります。西部には秩父多摩甲斐国立公園があり、金剛寺や武蔵御嶽神社などの見どころも多数。自然の中で楽しめるアクティビティも多彩で、だるま市や青梅大祭、1967年に始まった青梅マラソンも有名です。昭和レトロな町並みも残っています。

多摩川の上流にある御岳渓谷は、名水百選に指定されている景勝地です。



「1秒タオル」ホットマン



青梅大祭

青梅市には、「ホットマン」の本社・工場があり、純国産東京タオルを製造しています。吸水性抜群の「1秒タオル」が人気です。

青梅大祭は500年の歴史と伝わる山車巡行祭礼で、毎年5月2日と3日で開催されます。

青梅市の先進的・特徴的な取組 （「グリーンスローモビリティ」の実証運行）



（グリーンスローモビリティ）

地域公共交通の課題解決や、脱炭素社会の実現に向け、グリーンスローモビリティの実証運行を2024年10月～11月に実施し、新たな公共交通の導入に向けた取組を推進しています。



福生ベースサイドストリート



福生アメリカンハウス



福生七夕まつり



田村酒造場



石川酒造



福生市



福生市

武蔵野台地の西端に位置し、市の南北に雄大な多摩川が流れる福生市。都心から約 40kmと通勤圏にありながら、豊かな緑が広がっています。

また、在日米軍横田基地に面した国道16号沿いの商店街のアメリカンなまち並みがある一方で、江戸時代から続く2つの酒蔵や歴史ある寺社があり、和洋の文化と自然がほどよく調和しています。



まっぷる 福生-Birth to Happiness-



福生ドッグ

観光ガイドマップを作成し、市内おすすめの散策コースや、多彩なグルメ、自然スポットなどを紹介しています。散策コースについては、ショート動画を作成して発信しています。

福生にあるハム工場で作られたソーセージ、オリジナルのパンズとソースで作られた「福生ドッグ」はご当地グルメです。

ふっさ桜まつり、福生七夕まつり、福生ほたる祭など、年間を通して多くのイベントを開催しています。

福生市の先進的・特徴的な取組 (子育て支援カード事業)



〔ふっさ子育てまるとくカード〕

中学生以下の子供または妊婦のいる世帯が市内の協賛店にカードを提示することで、特典が受けられます。子育て世帯を応援するとともに、商店街の振興や、地域社会の繋がりを目的としています。



根がらみ前水田のチューリップ



ヒノトントンZOO
(羽村市動物公園)



羽村市生涯学習センター
「プリモホールゆとろぎ」



玉川上水の桜



玉川兄弟



羽村市



羽村市

新宿まで電車で乗り換えなしで1時間、奥多摩まで車で30分と、都心にも自然にもアクセス良好。多摩川と玉川上水が流れる自然豊かで閑静な街並みが広がります。コンパクトな市域に、住宅地と工場地帯がバランス良く配置されており、大人も子供も楽しめる動物公園や個性豊かな飲食店、地下水を100%水源とした水道水など、暮らしやすさと子育てのしやすさが魅力です。



秋の根がらみ前水田



羽村米

春になると、根がらみ前水田には、関東最大級のチューリップが一面に広がります。「根がらみ前水田」は、多摩川流域の上流部に位置する希少な水田です。夏から秋にかけては、美しい田園風景を見せてくれます。

多摩川の水で育てられた米は、「羽村米」として市内の精米店で販売され、羽村の水と「羽村米」でつくられた日本酒「酒はむら」も好評です。

羽村市の先進的・特徴的な取組 (伴走型相談支援の取組)



〔子育て相談の様子〕

妊娠届出時の面接を御家族との関わり
のスタートとして、様々な相談を受け、寄り
添い型の支援を行っています。乳児家庭全
戸訪問、産後ケア、妊産婦オンライン相談、
1歳児教室など、お子さんの成長に合わせ
たきめ細やかなサービスを提供しています。



石舟橋



秋川渓谷瀬音の湯



南沢あじさい山



秋川橋河川公園



東京サマーランド



あきる野市

秋川渓谷に代表される豊かな自然の中で、川遊びやトレイルランニング、ハイキングなどさまざまなアウトドアが楽しめます。JR五日市線始発駅から在来線で新宿まで1時間で行けるアクセスの良さと交通費のリーズナブルさも魅力。都会生活の利便性と田舎暮らしの楽しみを両立できます。

石舟橋は、秋川渓谷のシンボルで、新緑、紅葉など四季折々に表情を変える景色は見てたえたっぷりです。



とうもろこし



軍道紙

特産品であるとうもろこしは、甘みが強く粒が大きいのが特徴で、五日市街道沿いには、1960年代からとうもろこし畑が広がっています。6月～7月に収穫期を迎え、ファーマーズセンターなどに並びます。

「軍道紙」は、東京都無形文化財に指定されている手すき和紙です。「あきる野ふさと工房」では、「軍道紙」の紙すき体験を行っています。

あきる野市の先進的・特徴的な取組 (オーダーメイドな移住体験ツアー)



〔移住体験ツアー〕

あきる野市に移住を希望する方を対象に、電話やオンラインなどで移住相談を行っています。また、移住の下見やまちの様子を見てみたいという方に、ご相談内容に応じて市の相談員が車で市内を案内する「オーダーメイドな移住体験ツアー」を行っています。



瑞穂町郷土資料館
「けやき館」



六道山公園展望台



さやま花多来里の郷



みずほエコパーク



瑞穂町

東部には狭山丘陵が広がり、雑木林や湿地などの里山風景があるなど、豊かな自然が魅力の町です。ハイキングコースも多数あります。安心して快適な生活ができる「すみまいまち つながるまち あたらしいまち」を目指しています。

けやき館・耕心館のボランティアの方々が手作りで形にする瑞穂のつるし飾りは圧巻です。



東京みずほブランド

東京みずほブランド



シクラメン

「東京みずほブランド」は瑞穂特有の歴史と価値をより多くの方々に知っていただくために厳選したブランド認定商品です。

中でも、瑞穂町のシクラメン生産量は都内最大級で、岩蔵街道沿いにシクラメンを育てている温室があり、この街道は「シクラメン街道」とも呼ばれています。

瑞穂町の先進的・特徴的な取組 (OHAKOプロジェクト)



〔OHAKO (おはこ) マーケット〕

多摩都市モノレールの延伸を見据え、箱根ヶ崎駅西公有地を活用し、町民参加型のワークショップやまちづくりを行うことで、駅周辺のにぎわい創出に向けたコミュニティ拠点づくりを行っています。



日の出山山頂



日の出町

都心から50km圏内に位置し、西部の大久野地域には日の出山やつるつる温泉、さかな園など自然豊かな観光エリアが広がり、東部の平井地区には圏央道日の出インターチェンジや工業団地、大型店舗が進出しています。人と自然が調和した、緑の豊かさが町の魅力です。

日の出山の山頂は標高が902mあり、関東平野が一望できる大パノラマは、初日の出を拝むことができる絶好のスポットです。



ひのでトマト



スーパーカーやきいも（SYCafe43）



生涯青春の湯つるつる温泉



日の出山荘

日の出町



さかな園



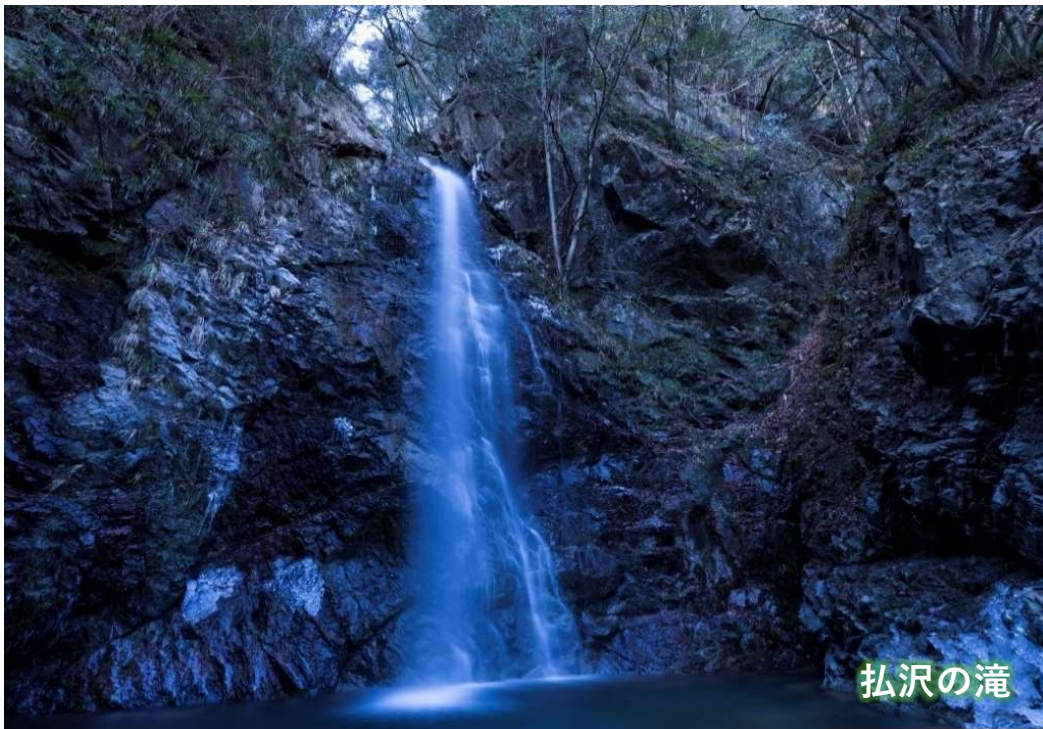
ひので野鳥の森自然公園

日の出町の先進的・特徴的な取組 （高齢者外出支援バス事業）



〔高齢者外出支援バスあじさい号〕

高齢者や歩行、移動が困難な方が、町内の日常生活に必要な場所に外出するための車両を運行することにより、自立した日常生活の継続を支援しています。



払沢の滝



檜原村

多摩地域で唯一の村。村の約9割が森で、四季折々の大自然が満喫できます。払沢の滝、巨岩・神戸岩などは、最近ではパワースポットとしても人気。自然の中で子育てをしたいファミリー層の注目を集めています。

払沢の滝は、冬に全面凍結や部分凍結することで知られています。



じゃがいも焼酎



東京ひのはらんど

檜原村では、じゃがいもが名産品で、じゃがいもを加工した「じゃがいも焼酎」などが作られています。

東京ひのはらんどは、自然体験ができるエコツアーを定期的に行っています。



檜原村じゃがいも焼酎製造等施設
「ひのはらファクトリー」



サテライトオフィス
「Village Hinohara」



旧高橋家住宅



檜原森のおもちゃ美術館



檜原村の先進的・特徴的な取組 (神戸国際マス釣場の建替事業)



〔神戸国際マス釣場〕

既存施設の建て替えにより、釣り客の利便性向上を図るほか、エコツーリズム等にも利用できる研修室や快適に飲食できるスペースの設置など、幅広い集客を見込める施設としてリニューアルします。



鳩ノ巣溪谷



奥多摩水と緑のふれあい館



せせらぎの里美術館



奥多摩湖



御前山



奥多摩町



奥多摩町

都心までは約2時間で行ける距離ながら、町全域が秩父多摩甲斐国立公園の大自然の中にあり、美しい自然風景と昔ながらの山村文化が残る町です。若者定住支援や子育て支援が充実しているのも魅力で、家族で田舎暮らしをしたい人に人気です。

鳩ノ巣溪谷では、特に紅葉の季節はきれいな景色を楽しめます。



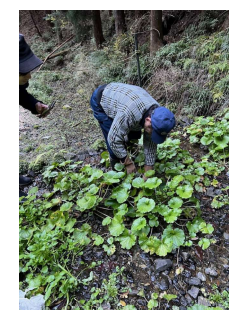
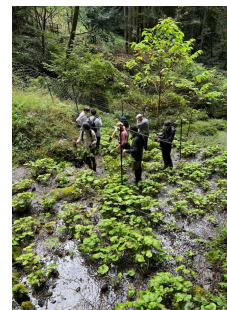
奥多摩わさび



奥多摩やまめ

奥多摩わさびは、高級食材の薬味としてご利用いただく他、わさび漬をはじめとする様々な加工食品として町の各所で販売されています。奥多摩やまめは1998年に水産試験場奥多摩分場（現在の奥多摩魚養殖センター）で開発され、奥多摩町の旅館や飲食店でご賞味いただけます。

奥多摩町の先進的・特徴的な取組 （わさび栽培技術伝承・後継者育成事業）



〔わさびの収穫作業〕

町の特産物であるわさびの生産量が、後継者不足等により減少しているため、栽培の担い手育成と高度な栽培技術を継承する奥多摩わさび塾を実施し、わさびの普及拡大を図る取組を推進しています。